

第7回多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会の振り返り

平成29年度にまとめた「多摩市街路樹よくなるプラン改定版（素案）」に示した改善策等について確認し、意見交換を行うことを主な目的として、現地視察を実施した。

対象は、「多摩市街路樹よくなるプラン改定版（素案）」で抽出した改善モデル路線及び市民の関心の高い路線の中から、今後早い段階で更新も含めた検討が必要な路線や、多摩市の街路樹でみられる共通の問題点を持ち、改善内容を他の路線でも共有できる路線。

視察対象及び視察行程 H30.7.24

(集合) 永山駅前

- ① 4-49号線 (ケヤキ)
- ② 5-1号幹線 (ハクウンボク)
- ③ 5-2号幹線 (モミジバフウ)
- ④ 5-39号歩線 (シラカシ)
- ⑤ 6-1号幹線 (メタセコイア)
- ⑥ 5-74号線 (クスノキ)
- ⑦ 乞田川沿い (ソメイヨシノ)

(視察終了) 市役所

□ : 現地視察地点

--- : 視察ルート

凡例

- 市民の関心の高い路線
- モデル路線(街路)
- モデル路線(遊歩道)
- 認定路線網図区域

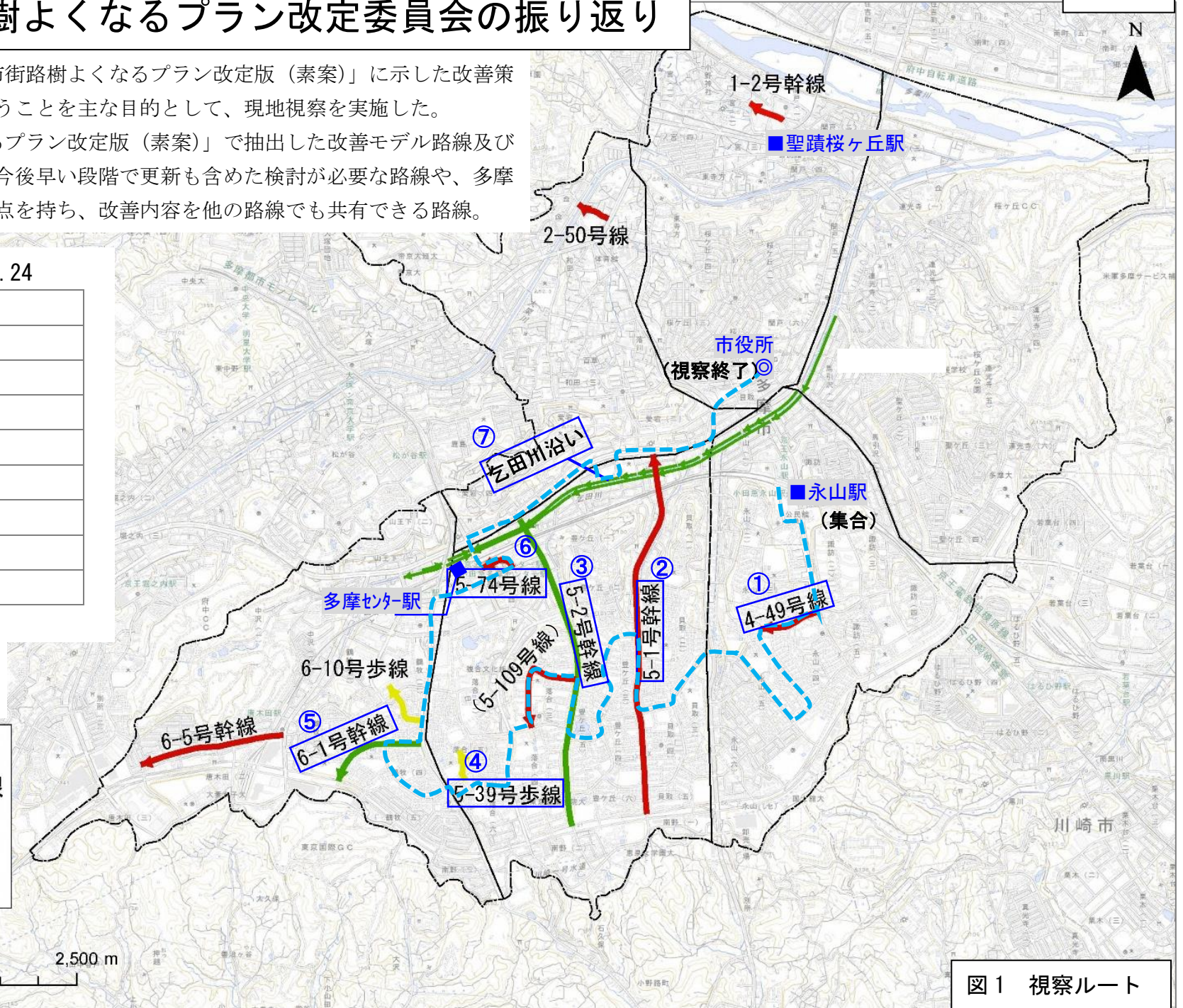


図1 視察ルート

2) 視察箇所に関する主な意見

視察対象	概要	現地での主な意見
① 4-49 号線 (ケヤキ)	<ul style="list-style-type: none"> 改善モデル路線。大径木化した街路樹の改善内容を検討する路線。評価Ⅱ。 ⇒現在の樹種をコンパクトな状態で維持するか、樹形がコンパクトな樹種での更新 	<ul style="list-style-type: none"> 根上がりなどが顕著で、歩行空間の安全確保の観点からも、小型化は避けられない 伐採後に切株残すと市民感情を悪くするので注意 民地の樹木の活用、又は越境しても樹形を保持する調整
② 5-1 号幹線 (ハクウンボク)	<ul style="list-style-type: none"> 改善モデル路線。評価Ⅰであり、伐採後の更新について検討が必要な路線。 ⇒植栽を導入するかも含めた見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に適していないハクウンボクは伐採、当初の計画の主旨を踏まえた、自然風の樹種にするとよいのではないか。間隔は要検討 低木ニシキギは除去し歩道を拡張する。植樹空間の拡大 車道側に安全確保のため、ガードパイプを設置する
③ 5-2 号幹線 (モミジバフウ)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心の高い路線。大径木化した街路樹の改善内容を検討する路線。評価Ⅱ。 ⇒更新の目安や管理目標を設定し、計画的な管理の実施（間引き、サイズダウン） 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉の名所となっており、多摩市として注力すべき路線の一つである。今の良さをどのように未来に伝えていくか 照明の障害となっている枝の剪定、枯れ枝の切除、根上りした歩道の補修等を地道に続けざるを得ないと思う。
④ 5-39 号歩線 (シラカシ)	<ul style="list-style-type: none"> 改善モデル路線。遊歩道部の改善内容の検討が必要な路線。評価Ⅱ。 ⇒遊歩道内を明るくするため、間引きをするか、すべて撤去する。低木寄植を含めた植栽構成の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 現状では、街路樹空間が上手に利用されていない印象を受ける。 冬の陽光を取り入れるために両側のシラカシをすべて伐採し、中央に落葉広葉樹を植えたらよい 植栽のデザインや樹種剪定では、隣接する学校や地域の人の意見を取り入れて進めることが重要。

2) 視察箇所に関する主な意見（つづき）

視察対象	概要	現地での主な意見
⑤ 6-1号幹線 (メタセコイア)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心の高い路線。大径木化した街路樹の改善内容を検討する路線。評価Ⅱ。 ⇒更新の目安や管理目標を設定し、計画的な管理の実施（間引き、サイズダウン） 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉の時期はとても美しいが、実際に歩いてみると枯れ枝や根上がりが目立った 観光資源としていくには、隣接する緑や植栽間隔の調整、高さのコントロール、根上がり対応と大径木化との兼ね合い、落ち葉対応等が必要
⑥ 5-74号線 (クスノキ)	<ul style="list-style-type: none"> 改善モデル路線。周辺との緑との調整を検討する路線。評価Ⅱ。 ⇒現在の樹種をコンパクトな状態で維持するか、樹形がコンパクトな樹種での更新 	<ul style="list-style-type: none"> 印象的な通りにしていくには異なる樹種への植替もよい 多摩センター界隈はクスノキを基調に植えられている。クスノキは雪や強風で枝が折れる欠点はあるが、交通量が多い地域なので丈夫なクスノキは適していると思う 枝が折れないように頻繁に剪定し、コンパクトな状態で維持管理していかざるを得ないのではないか
⑦ 乞田川沿い (ソメイヨシノ)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心の高い路線。大径木化した街路樹の中でも、サクラの改善内容を検討する路線。評価Ⅱ。 ⇒樹木診断を定期的実施し、順次更新を行っていく。更新の際、ソメイヨシノに替わる小型の樹種の導入検討も実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大径木化が進んでおり、樹木の更新が避けられない 更新に関しては、比較的長期間かけて順番に行うことで、急激な景観変化を回避する 樹種に関しては、サクラが良く、多品種化が望ましい 更新とあわせて植栽基盤整備を行ってほしい